

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

（令和5年9月7日 午後1時45分）

●議長（佐藤武雄） 休憩前に引き続き会議を開きます。

通告の9、佐藤博一議員。

- 1、外交施策について
- 2、観光施策について
- 3、防災施策について

議席番号6番、佐藤博一議員。

◆6番（佐藤博一） おはようございます。議席番号6、佐藤博一でございます。今回の通告は外交施策、観光、防災施策の3つございます。まず最初に外交施策ですが、一番最初、町長ともやりとりした時に外交は国外ではございませんと。これは町長の大事なお仕事の一つということで、ご認識いただけたかなと思います。そこで6月会議以降この夏、町長の町外、例えば能登とか町内各種イベント、野尻の花火とか、そういったところでの外交的な役割はどうであったかなと。そこでまた、町長がどのように町をアピールしてくださったかなと。次の集客、移住は、外交とはちょっとずれるかなと思いますので、これは除いて考えてもらって、特に姉妹都市が2つあったのかなと思うんですけども、そこでの町長の活躍ぶりを皆さんにご披露ください。よろしく申し上げます。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） ただいまの佐藤議員からの質問にお答えいたします。6月会議以降の状況なんですけれども、大変多くのイベントが町内でもありましたし、町外にも足を運ばせていただきました。町内の参加したイベントを少し説明させていただきますと、6月23日、やすらぎの森でセブン財団の皆さんが7、80人ほどお見えになったでしょうか、植樹下草狩りにお見えになったのを皮切りにいたしまして、7月にはトライアスロン、それから若者が中心となって企画を運営いたしましたシナノフェス、25日には若者会議というようなことで、総合会館で会議を開催させていただきました。29日には野尻の花火大会、姉妹都市の皆さんにもお越しいただいて交流会をやりました。8月に入りましては、6日に4年ぶりに野尻湖遠泳大会が開催されました。そしてまた、その日は流山と能登町から少年野球チームがお見えになって、ふれあい広場で対抗戦を行ったということであります。夏ということで、町内毎週のようにイベントがあつて、多くの方々と意見交換ができたと思っております。また、県外出向いたものでいたしましては、7月7日に能登町であばれ祭りということで、ここにはもちろん能登町の関係の皆さん、大森町長をはじめとする関係の皆さんのほかに、流山の石原副市長さん、また宮崎県の

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

小林市からも宮原市長さんがお見えになって懇談をさせていただきました。そしてまた8月1日には、JR大宮駅で「信濃の風」という直売コーナーがございまして、長野県の物産を直売するコーナーですけれども、そこでトウモロコシを売ったわけですが、それに先立ちまして、大宮駅の駅長さんをはじめ皆さんと意見交換をさせていただいたということでありました。本当にいろいろな行事があったわけですが、それぞれ想定を上回る参加者がおられまして、対話の端々から、コロナ禍からの復活を目指すんだとそういうような、強い意志を感じたところでもあります。また、シナノフェスあるいは野尻湖サンデーマルシェ、グリーンマーケットという非常に若い方々に企画していただいたイベントのほうには、特に感じたのは小さな子供を連れた若い夫婦、そしてまた外国人のグループの方が数多く見受けられまして、彼らが多分、ホームページ以外のSNSとかそういうようなものを駆使したネットワークで広く繋がっているのかなというところを感じたところでもあります。今後は、来月には韓国で開催されます森林セラピーの世界大会に参加いたします。これは県内でも松川町、小海町も参加すると聞いております。また、癒やしの森の協定を締結しております企業への訪問、それから流山市あるいは岐阜県の東白川村も、これまでお付き合いがありますので、そういった市町村と引き続き交流を持っていきたい。そのような場面で信濃町の魅力、農産物のこと、移住者のこと、また移住者がどのような考えをお持ちなのか、あるいはどういった点を期待しているのかと、そういうようなことについて、意見交換できればなと考えているところでもあります。以上です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） だいぶ後までお聞きしようかなと思っていたところ、町長にかなり答えていただきまして。韓国に行かれるというのは前から伺っていましたので、そういった海外へも、森林セラピーは、信濃町はトップランナーでございますから、そういった意味で大役を果たしてきていただければなと思います。先ほど伺った中で、外交施策ということで、町長はいろいろイベントをすべてお答えくださったので、私は外交だけでいいかなと思ったところをプラス、各種イベント、で今お聞きして私も知らなかった若者の力ですね、そういったものもお聞きできて、それは逆に町長がこの町内で汲み取っていただいたことでありましたので、非常に今後の政策にも活かしていける部分かなと思いました。本当にありがとうございました。そういった中で、新聞にも出ていました大宮駅のトウモロコシ、これは担当課長にお聞きしたいんですけども、どんな経緯でこれが行われるようになったのかお教えてください。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 大宮駅のトウモロコシの販売につきましては、人的な交流であるとか、信濃町のPR、それからふるさと納税のPR、それから何と申しましても、

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

朝採りの味を直接お届けして、ぜひ信濃町に来て味わっていただきたいというような、そういうようなことを目的として計画したところです。最初は東京都内等を検討したところなんですけれども、大宮駅にちょうど長野の直売所があるというようなお話を伺ったもので、集荷の方も信濃町まで来てやっていただけるというようなお話で、町の職員の負担もかかりませんので、お願いをしたというような経過でございます。以上です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 朝採りのものを埼玉の方々に、都会の方にお届けするというのは、観光のPRのみならず農業のPRにもなりますし、非常にこれも新聞を見て大喜びした次第でございます。そういった大宮駅、今、駅ってお聞きしたんですけれども、過去には10年ぐらい前に信濃町と同じネーミングで、信濃町駅という東京の四ツ谷の隣の駅があるんですけれども、町の職員さんが頑張ってその信濃町駅とかなり繋いでくれたようなこともあるんですけれども、担当課長さん、そういった昔の信濃町駅というのは状況としたらご存知でしたでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 直接はちょっと行ったこともなかったんですけれども、話としてはお聞きしていました。また、大宮のイベントの際に、当時の信濃町駅に関係者の方がたまたま駅関係でお見えになって、お声がけをいただいたりした経過もございました。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 今、過去の信濃町駅の方も企業の方ですからいろいろな駅をぐるぐる回ったりされると思いますので、今回は新幹線を使ってという、スピードで都会に物を運ぶというやり方だったと思いますけれども、過去に信濃町駅というものとの関係を築いてくれた非常に有能な職員がいました。現役でまだ職員をやっているらしいので、そういった過去のことも聞きながら、都会の駅との様々な繋がりを作ってくださいればいいなと思いました。それは外交プラスどちらかというとPR活動ですね、そういったPR活動も産業観光課の方では次の質問にも繋がっていきますけれども、観光施策の方で頑張っているらしいと思いますので、次の観光施策の方でございますが、まず観光施策のうち今回気がついたところが、黒姫の駅前と、私の地元の古間の駅前につきまして、道路が非常に傷んでいると。これについて事前にですけれども、最初今年の春先ですけれども、建設課長に聞いたら「実はうちの所管じゃないんだよね」、と言われて、そこで驚きまして、お聞きしたら産業観光課の所管になっていると。そういったところで駅前の道路の維持管理、その所管ですね、除雪については建設水道課さんがやっ

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

とくださっていると、最初に建設水道課長にお聞きしたいんですけども、通常の維持管理の所管は産業観光課にあるけれど、除雪に関してはこれはやはり冬場の特異性を持ったところだということで、ちょっとまた現状建設水道課長の方でお話しいただければなどお願いいたします。

●議長（佐藤武雄） 柄澤建設水道課長。

■建設水道課長（柄澤 豊） 今回の佐藤博一議員さんの質問の通告の中に、その次の質問もちょっと関連がありますので、お答えをさせていただきたいと思いますが。まず土地の所有の問題になりますが、黒姫駅前の正面のロータリーと申し上げていいでしょうか、あの広場につきましては、しなの鉄道の土地になります。ただ駅の正面の向かって右側の一茶ふるさと広場については町で建設水道課が所管をしています。ちなみに西口駐車場は町の所管になっているわけですが、黒姫駅前についてはそういう土地の状況になっています。古間駅前のロータリーにつきましても、やはりしなの鉄道の土地になります。従って、維持管理については本来はしなの鉄道と考えますが、しなの鉄道との窓口は産業観光課ですので、緊急の場合は産業観光課で対応をいただいているということです。ただ、大きな穴が開いていたり、通行車両や通行人に怪我の恐れがあるような場合につきましては、非常に緊急ですので、補修資材を保有しているのが建設水道課ですから、頼まれまして応急処置をした経過はございます。なお、除雪業務についてですが、黒姫駅前につきましては黒姫駅奥を県道除雪の、雪の押し付け場にしておりますので、県に除雪をいただいております。古間駅前につきましては、奥の駐車場は町の駐車場になっていますので、古間駅前ロータリーも町が除雪をしているところでございます。駅前ロータリーの舗装につきましては、建設水道課に苦情等が来る場面が多々ございます。その中で、除雪等で傷んでしまったものにつきましては、県または町で補修する場合がありますが、町の土地ではありませんので、本来しなの鉄道さんの方で補修をしていただくのが本来の筋かなと考えてございます。当然、駅前通りの道路につきましては県道でございますので、そちらは何かありますれば県の方に依頼をしますし、町道であれば道路管理者の町が補修をいたします。以上でございます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 非常に分かりやすく丁寧に答弁いただきました。そこで、道路が緊急的なものは材料を持っている建設水道課で対応できるということですが、長年両駅の駅前が傷んできていると、そういったことの苦情を聞いている場合は、これは本当の所有者であるしなの鉄道と町の窓口である産業観光課が協議の上どうこうするということになりますか、佐藤課長。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 通告いただきまして、しなの鉄道さんとも協議をさせていただきます。しなの鉄道さんですが、当該の箇所は各年で検査を実施しており、今年も8月に現場を確認していただいております。舗装の状態についても把握しております、と仰うことでした。検査結果及び現地検査の結果、それから当該箇所の舗装補償は必要であると認識しておりますが、コロナ禍や物価、燃料費高騰等により厳しい経営状況であるため、他の設備の維持修繕と優先順位等を見ながら適宜計画的な措置を講じてまいります、と仰うことでしなの鉄道さんには回答いただいているところです。舗装ですので、傷み出すとまた激しく傷んでしまいますので、こちらからも細かく情報提供しながらお願いしていきたいと思っております。以上です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 通告後、課長の方でしなの鉄道さんにお話いただき、今お答をいただいているとのこと。我々電車に乗るのに、まずその駅前の道路を通過して駅舎を通過して電車に乗って行くわけですが、その前が傷んでいたら、これは我々のみならず観光客が来た場合、なんだこの街はということになりかねませんので、相手のしなの鉄道さんも赤字でいろいろ報道等されておまして、今課長も状況として厳しい苦しさをいろいろと羅列いただきましたけれども、これはまた町長等、町のトップを通しまして、しなの鉄道さんに申し入れしていただくなり、しなの鉄道さんの社長さんなりに協議していただくとか、やはりこれ重要なところだと思いますので、私ども通告書にも書いたんですけれども、車社会とはいえこの鉄道は非常に大事なものだとも認識しておりますし、明治20年頃開通した大事な過去の信越線でございますから、そういったものをしなの鉄道さんが引き継いでやっていただける面はありがたいと思っております。そういった中で観光の一端を担っている駅でもありますし、また地域の公共交通のハブでもある役割も持っておりますので、町長として今後の駅というものを、駅または駅周辺の整備等をどのようにお考えになっていらっしゃるか、お答えいただければと思います。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） しなの鉄道黒姫駅、古間駅に含めた鉄道施設についての考えでございますが、通勤通学の利用はもとより、通院、買い物などの際の人の移動を支える重要なインフラであると認識しております。また、観光インバウンド等での利用もありますので、これを将来に渡って維持していくことは非常に重要かと思っておりますが、一方で周辺観光地へ接続する二次交通の維持・確保が課題ではないかと考えております。これに関します現時点の町の支援策としては、タクシー運行への助成ぐらいしかなくて、非常に申し訳ない状態ですが、今後スマホアプリなどを利用した配車サービスなどを研究させていただく中で、利用者の利便性を更に向上させていければと考えているところです。

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 実際、駅の公共交通という面では、私ども今所管の総務産業常任会で公共交通について研究をしております。そういった中で、やはり我々町民だけの公共交通になっております。町長がおっしゃるように、タクシーの初乗り運賃の補助も施策の一つとして重要なものですが、更に何か観光でお見えになった方に利便性を感じていただけるようなものも町としてもお考えくださればいいなと思っております。次に、観光の中で中心的な役割を担っております、最初のしなの鉄道の駅業務については、今振興局が担っていただいております。この元々の振興局ができた経緯は、町長はお聞きになっていらっしゃるかなと思うんですけども、過去に平成26年の春に、観光協会がそもそも駅業務をやりたいということで手を挙げたのが最初でした。そこで観光協会が冬のイベントで大トラブルを起こしまして、駅業務を預けるわけにはいかないと時の町長は判断し、また観光協会もギブアップしてきましたので、新たに振興局という町はじめ商工会等手を挙げてくださりまして振興局という組織ができあがり、これが元々駅業務を担っていただくということでスタートしたのが最初でございます。課長にお聞きしますが、この振興局ともう1つの観光協会、観光施策の方の質問ですが、この両組織がこの夏、先ほど町長がいろいろご出席いただいたイベント等もあります。そういったものを陰で支えてくださったと思うんですけども、観光協会、振興局この働きぶりは夏はどうでしたでしょうか。私は外から見てて頑張っていたなと思っているんですけども、所管の課長としてはいかがだったか、どう感じましたでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） この夏、観光地の人出もだいぶ回復してきているように感じたところです。それから花火大会も大変盛況だったと感じています。黒姫駅前の8月11日のイベントなども隣の妙高市さんの駅に行ってみたんですけども、黒姫駅の方が2倍から3倍くらいの人出があったなと感じております。先日、癒やしの森コンサートにつきまして、両団体さんにもご協力いただく中で盛況に終わったところですので、両団体さんも含めて関係の皆さんには感謝しております。以上です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 特に観光関係を担っていただく観光協会、振興局非常に頑張ってくださいと、それは先ほども申し上げたように私も感じているところでございます。その中で、数か月前から観光協会の中で人事的なことで、ゴタゴタが起きていると聞こえてきているんですけども、何か人が辞めるとか辞めないとか、そういったことでそこを管轄している町の方にもそういった情報は入ってきておりますでしょうか。

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） その辺については、特に情報はございません。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 大体今まで観光協会の話と振興局の話をするとうち側の答弁は、今も聞いていません、になっちゃったんですけども、外の会社組織ですので、我々関与していません的な答弁が、過去私が議員になってから結構いただきました。何かあるのかなと思っているんですけども、それは元々は町から補助金なり様々な委託金なり出している組織でありますから、もったきめ細かいところまで、特に人で成り立っている組織だと思いますので、もう少し今課長は感知していませんでしたが、もう少し関与していただければと思います。ということは、例えば今観光協会がゴタゴタしていると申し上げたんですけども、副町長は参加ですよね。そういった副町長のところにも今ちょっと人事的に何かあるんだということは聞こえてきておりますでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 小林副町長。

■副町長（小林義之） 観光協会の関係ですけども、一応参加にはなっているんですけども、理事会等への出席なども今求められていない状況で、具体的な状況については把握していません。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） そうですか。非常に蚊帳の外みたいな答弁でありました。両組織で人を雇っていると思うんですけども、観光協会は今何人雇っていて、通告書には経費と書いてあるんですけども、いちいちお金のことは聞いてもあれなので、観光協会がどのくらい雇っているかどうかだけ数を教えてください。観光協会の雇っている人間と、振興局で雇っている人間の数を教えてください。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 観光協会では現在3名ということで、1名が育休中ということでお聞きしております。それから振興局の方は延べで21名ということでお聞きしているところです。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

◆6番（佐藤博一） 振興局の中で、事務をやれる方を雇っている人間は何名ですか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） そのうちの事務局員が1名です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 非常に振興局というのは、駅そばの業務をやっておりますので、始めた頃から見ると、かなり体が大きくなってきております。そうすると駅そばで雇っている人間と駅で雇っている人間を入れると、今課長の答弁のように延べ16人となると思います。私が調べた限り、ここに振興局の今年の総会資料があるんですが、その中に事務局長は理事長が代行すると書いてあるんですよ。それで、その費用も払うということで、議案としてこれは決議されたみたいでございます。となると、今これから言えば産業観光課長、振興局は事務の方が何人いるか分かりますか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 事務局長のような方はいらっしゃらないので、そういう方の数で言えばゼロになるかと思います。ただ、事務的なものをどういう配分でお仕事されているかというところまで存じ上げておりません。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 小学生の算数のあれでいけばゼロです。今申し上げたように、令和5年度理事長の事務局代表手当てと書いてあるんですよ。ということは、理事長が一番トップで、事務局というのはいわゆる事務屋さんだから、雇い入れされる人間だと思うんですけど、自分で両手でジャンケンポンやっているような話でございます。こっちでいくら出すよ、じゃあこれもらいますよということです。こういう組織であっていいのかどうか、その辺は産業観光課長どう思いますか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 理想的には、事務をやる選任の方のような方がいらっしゃる方が好ましいかと思います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

◆6番（佐藤博一） これのですね、振興局が6月21日に総会開いてまして、私のところにも来たんですけども、課長のところにもこういった資料が手渡っているはずなので、非常にそういったことが理想的でございますみたいな、非常にぼやかしたことをおっしゃいましたけれども、現実問題やはりトップがこういうふうな事務をやってお金をもらっていること自体が、じゃあ町が振興局に対してお金を、振興局は自力でできる自主財源もかなり持っています。ただ町からは委託金も出しているし、それから委託金のほかに黒姫運動場の指定管理とか駅業務も受託ですよ、あと情報センターというのもお金出しています。相当金額出しているところのトップに対して、事務屋を雇っていないというところは、ゆゆしき事態だということで、今後課長としては、町として振興局と話し合ってみるという気はありますか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 今年はトライアスロンの事務等もございましたので、事務部門といいますか、その部分について強化をしていただくようにと思いますので、また次の機会に協議をしてみたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 今申し上げているのはお金のこと、数字は出しませんでしたけど、実はじゃあ数字出します。総会資料、観光協会と振興局両方から私いただいたのですが、観光協会からは、町の補助金はおおよそですけども900万円ほど行っています。振興局には300万円ほど、振興局には更に駅業務と情報センターで相手さんにしてみれば受託業務になっていますが、1500万円ほど。黒姫運動場の指定管理400万円。こういう金額が出てきて全部足しますと、観光協会にはおおよそ1300万円ぐらいで、振興局には4300万円ぐらいの予算で1年間活動しています。両組織からいただいた総会資料、両方とも非常によくできて、昨年のものでですけども頑張って活動したなと思います。これが町から入れている補助金が900万円ぐらいで、残りが会費とかで、よく1300万円で町の観光業務を担っている組織だなというのが感じたところでございますので、観光協会の補助金はこんな金額では、まだまだ他の町には勝てないなと思いました。逆に、振興局は300万円のお金を町から入れ、他に駅業務、情報センター、運動場等様々なものを委託しているわけですよ。そういった意味で組織的には力をつけてきた組織だなというふうに見えます。駅で駅そばを皆さん食べたことあると思うんですけども、あれは現理事長が頑張ってやられたことですから、すごく私は評価しています。非常に自主財源を作れる体質にしたのが振興局。自主財源を作れない体質にしてしまったのが観光協会。非常にこういったものの2つの組織がありますので、もう一度産観の課長にお聞きしますけれども、例えば観光協会と振興局と町3者が集まって、例えばこれからですね、じゃあ来年の春以降の戦略はどうするかとか、夏以降どうするかとか、来年度予算をこ

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

れから組むところだと思うんですけども、2つの組織から町にこれだけ補助金を下さいということを言われて、ただただそれを見て精査してお金がありません、うちは今予算が厳しいですというようなことだけをやっているのか、やはりこれから3者が集まって、特に戦略というものを考えるべきじゃないかなと思うんですが、副町長その辺はどう思いますか。

●議長（佐藤武雄） 小林副町長。

■副町長（小林義之） 振興局さんにつきましては、駅業務のほかに手広く事業を行っていただいております。今回、黒姫陸上競技場の指定管理もそうですし、トライアスロン事務局ですとか、そういう部分をやっていただいております。そんな中で振興局の中でも振興局の在り方を検討するという組織を昨年から作っております、今年度中に観光協会なども入って、どういう形で在り方を検討していくかということを進めておりますので、そういう部分に町の職員も入っておりますので、そういう部分で振興局自体だけではなく、町全体の観光も含める中で、どんな形で進めればいいのかというものも既に検討し始めておりますので、その中で新たな方向性というのを見出していければと思っております。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 今副町長の言葉からお聞きしていると、振興局の在り方というところの会議に、観光協会または町が入ってきているという今の答弁でございましたけれども、そうすると振興局という名前一本にしていこうというような方向性があるのでしょうか

●議長（佐藤武雄） 小林副町長。

■副町長（小林義之） そこまで具体的なものはありませんので、とりあえずは今の団体を維持していくということです。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 観光協会に対しましては、副町長は参与というオブザーバー的な立ち位置だと思うんですけども、振興局については理事の一人でいらっしゃいますから、議決の一票を持っています。そういったところで、また町側の大事な代表でいらっしゃいますので、どんどんその辺は改革を進めていくべく、理事長の方に、理事の理事会になり皆さんに図っていただければなと思います。ここで町長にちょっとお伺いしたいんですけども、今申し上げています観光協会と振興局の各々からの総会資料というもの

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

が出てきているんですよ。パラパラじゃなくてある程度熟読的に読まれましたか。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） それぞれの総会資料は見せていただきましたが、熟読というところまでは至っていないのが現状であります。以上です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） お忙しい立場ですから、こういう資料を出されても実際観光協会では結構3、40ページあります。振興局ももうちょっと10数ページくらいだと思うんですけど、一番こういうものって出てきたときに読むときのポイントって、こういう組織の総会資料になれば数字だけだなと思うんですよ。どれだけ稼いでいるのかな、町でどのくらい出ているのかなと、やっぱりその稼ぎだと思うんでその辺は。それとあとは1年間ですから、どれだけのものを頑張ってやってきたか、そのところは評価してあげてほしいなと思います。また今後もよろしく願いできればなと思うんです。で、過去に前町長にも何回か質問したんですけども、平成29年に観光審議会というものが町長の諮問によりまして開かれて、答申が町にかえってきました。それ以後、観光審議会というのは開かれておりますか、おりませんか、産業観光課長。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 開かれていません。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） はい、失礼しました。課長に開かれているか開かれていないかは、これは町長の権限でございますので、町長が開けと言ったら開くものでございますから、課長はまだそういうものの指示を受けていないということでありますので、開いていないと。そういった平成29年の頃は当審の中に、インバウンドというところはかなり力説して、町内のインバウンドを扱う事業者さんもかなりそれで頑張られて町内景気を良くしてくださりました。そういった中でこのコロナが来ちゃったと、先ほど町長もこれからは復活に向かっていくと、そういう復活に向かっていく中で、先ほども副町長が答弁いただいたように、振興局の中でそういった在り方、また観光協会を交えて、また町を交えてというその3者で、これからやはり今年の夏を見ておりますと、町長も相当お忙しく飛び回ったなと思いました。忙しいのはほぼ毎週どころじゃないみたいですよ。県外も含めて県外で暴れて帰ってきたという情報も聞こえてきました。暴れたって別に喧嘩しているんじゃないかとお祭りで暴れてきたと。そういうこともお聞きしております

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

ので、非常に町長は今やる気が見え見えでございますので、そういった中で観光ですよ、トウモロコシなども昨年までは単価がちょっと低めだったのが、道の駅を中心として200円、もしくはそれ以上の業者さんもいらっしゃいました。非常にいい設定されて、大宮もそのくらいで売られたんですよ。それは朝採りで持って大宮というのは非常に安い、都会の方は安いなと思います。そういった町内の各事業者さんが頑張りはじめて、若者も非常に町長から見たらエネルギーがあったと。これこそまさに今、観光というものを見つめ直す一番の時期じゃないかなと。そういったところでは、副町長は先ほどまだまだ振興局、観光協会と一緒にいけるほどでもないよとおっしゃっていましたが、特に今、観光協会の予算を見る限り非常に厳しいです。そこは、ここであまり来年度の予算要求する場ではありませんけれども、この総会資料を見ただけで、あんなに頑張っているわりにはお金をつけていないなというのが見たところの数字でございます。先ほどの、かたや様々な受託業務等があるんですけれども、4300万の会社と、もう1300万で頑張っていて、それも人をいっぱい抱えて頑張っちゃっている会社、さあどうなりましょうというところも考えて、両方足して6000万ぐらいの会社にすればいいという話ではありません。やはり片方も生かしながら、もう片方にももうちょっと手を差し伸べて頑張ってもらいたくのが行政の仕事だと思いますから産業観光課長、今後の観光協会ですね特に、どのように再生させていけるかどうか、その意気込みなりお答えを聞かせてください。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 再生なんていう、なかなかそんなことは申し上げられませんが、しっかりご意見を聞く中で自主財源とも、観光協会のレンタサイクルもはじめて今頑張っていると思います。そういうことも含めてしっかりご意見を聞く中で、共にいい方向に進めればと思います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 現状はレンタサイクルですけれども、これが今度雪が降ってくると、さあどうしようということになりますし、私も1年間、観光協会では実はご存知のようにお世話になったのであります。その当時は町役場の方から通年営業をしてくださいと言われました。365日窓口を開けたんですよ、1日も休まず。私は元旦のお昼のお雑煮を黒姫駅で食べていました。やっぱりそういう1年中開けておく、これは今は聞いてみたら毎週何曜日かわからないけどお休みを取っています。聞いたら、お客さん来ないんだもんみたいなこと言います。10年前とは状況は変わってはきておりますので、その辺の変わってきている状況も加味しながら、駅前の案内所、それから道の駅の、これは今度は振興局の方ですけれども、情報センター、総合的にこれからの本当の在り方を考えていただければと思います。だいたい自分のこと言って申し訳ございません。3番目の防

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

災施策なんですけれども、先般、町の総合防災訓練で、私ども古間地区が重点地区でやっていたいただきました。私の東町には、第4分団の副分団長以下5名来ていただきまして、住民の反応は非常に今の消防の人って丁寧なんだねといういいご意見を、終わった後住民からいただいていた。さて、町でハザードマップを作っておりますけれども、避難所について総務課長だと思っておりますがお聞きしたいんですが、住民の避難というのが地区ごとに特性が、地域のいろいろ様々な特性があると思っておりますけれども、山あり谷ありの信濃町でございますから、そうするとその避難の仕方なり、どのように避難すればいいかというのは各地区の特性を町は掴んでいるのか。例えば今、私は今年総代やっているんですけれども、町の方からそういうアンケートなり、質問なりくればいくらでも書いて、こういうルートで今うちはこういう人間を抱えております的なものは出せると思っておりますよ。やっぱりそういうものを踏まえながら、ハザードマップなり作っていただいたほうが、生の声が反映できるんじゃないかなと思っておりますが、その辺は総務課長のところではどのようにお考えでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） 総務課長としてというより、町としてご答えをさせていただければと思います。防災訓練本当にありがとうございました。総代さんとして大変ご協力いただいて、本当にありがとうございました。まず町で作成しております防災マップですが、防災マップの方には地震の液状化予測、それと最大震度予測、それに溜め池の決壊予測、土砂と洪水のハザードマップ、それと防火水槽や指定避難所等の位置をお示しする中で、コロナ禍前の総合防災訓練、やっと4年ぶりにこうやって実動して、総合防災訓練は行うことができました。ちょっと3年間4年間ぐらい空いてしまったんですが、その前までは地域の皆さんが避難経路を想定して、危険箇所がないかどうか日頃から確認していただくようお願いをしております。このコロナ禍前、最後の令和3年度だったんですが、古海地区で総合防災訓練を行わせていただいております。その際は、安全な避難経路を確認する一環としまして、お配りしている防災マップを使用しまして、地区の皆さんが参加いただく中、消防署の職員の皆さんを講師にして、危険箇所の把握をして避難経路を確認する図上訓練を行わせていただいたところでございます。今年もこんなに暑くなって、信濃町でこの暑さは考えられない暑さだと思いますが、異常気象が本当に頻発していると思います。ですので、住民の皆さんには実際に防災マップで具体的な避難経路を確認していただいて、把握に努めていただければと思っております。町ではその細部に渡って、ここが危ないとか、ここは落ちたら危険だとか、そこまでそんなに分かるわけがありえないので、やはり住民の皆さんが実際に自分たちでどうなんだかということをご確認いただくのが一番最善な方法かと思っております。ですので、災害の規模、種類によって我々が予測できるもの、例えば台風とか、あとは大雨の場合、土砂災害というのは土壌雨量指数で避難指示なりのレベルを上げます。そうしますと大体、うちの方でそういうものを把握するので、大雨警報が出ると職員がここに来て、そ

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

ういものを調べて気象台と連携してやっております。ですので、そういう場合はあらかじめ早めに避難所を開設して、皆さんをお受けするという形をとります。ただ、地震等の突発的な災害については、もうどうにも避難所を作る間もないときにきますので、皆さんにできるだけそういうことをあらかじめ把握していただけることが、一番最善ではないかと考えております。あと、災害なんかからのご意見というのは、これは本当に大事なことであります。災害になると、避難所も開設します。その場合は、地区の皆さんからのご意見やご要望、また、ご協力がないと避難所の運営もままならなくなりますので、ぜひご意見等があるということは、我々もこの後の災害の参考になりますので、大変参考になると考えております。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 我々アンケートの云々よりも、今総務課長のおっしゃるとおり、自分たちで認識しておきなさいということは、それはこの間、防災訓練の時も配られた資料の中に、自主防災組織というのをいわれました。うちの隣の地区では立ち上げたと、うちもそろそろやらなければという気持ちになったところでもありますので、やはりああいう災害は、我々が自分たちから立ち上がっていく、昼間どのくらいの間がいて、それは我々しか分からない面が多いですから、その面では今課長の答弁で分かりました。ハザードマップなんですけれども、長いこと配られていないような気がするんですけれどもそんなことないですか。今配られているのは何年版ですか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） 今お配りしているのが2021年度版でございまして、これはそれぞれ災害の指数といいますか、調査をした結果を反映させますので、今年度はまた変える予定で今やっている最中ですので、また出来上がり次第皆様のお手元にご配布するような形になろうかと思っております。2年前のものです。以上です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 2年前ということであればそんなに古くはないと思うんですけれども、頭の中に何か新しいものだったので、それは多分予算の数字が入っていたのかなと思います。それでお聞きしたいんですが、それを作成するにあたって、専門業者さんにこれを、例えば丸々委託していてその中で作っているのか、先ほど申し上げたように我々総代みたいな意見が寄せられてそれがその中に入ってくるものなのか、それはどうなんでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

令和5年第421回信濃町議会定例会9月会議会議録（4日目）

■総務課長（松木和幸） 前段でお話ししたとおり、液状化予測なりは県の調査資料を元に作りますので、これは見ていただくと分かるとおりに住宅地図みたいなものところに落とし込みます。ですので、そういう住宅地図の会社さんをお願いして作っていると。その方が安価にできますので、そういう専門的な県で出た調査のデータをいただいて、それを落とすという形で作って皆さんにお知らせをしているという状況です。

●議長（佐藤武雄） 佐藤議員。

◆6番（佐藤博一） 理解しました。県から来ていたというのは、副町長が総務課長時代に、県から言われた私の地域の水害の情報を非常に覚えています。将来こういうものがありますよ、と副町長が総務課長時代におっしゃっていました。それが今現状総務課長が持っていらっしゃるところに、私の地区などは反映されている記憶が蘇りました。ありがとうございます。以上をもちまして私の質問を終わらせていただきます。

●議長（佐藤武雄） よろしいですか。以上で佐藤博一議員の一般質問を終わります。

以上で本日の一般質問を終わります。本日の日程はすべて終了しました。

お諮りいたします。委員会審査のため、本日の本会議終了後から9月22日までの間を休会といたします。これにご異議ございませんか。（異議なしの声）ご異議なしと認めます。よって本日の本会議終了後から9月22日までの間を休会とすることに決定しました。なお、9月19日（火）午前10時から決算特別委員会が開催されますので、全議員の出席をお願いいたします。また、最終日9月25日の本会議は、午前10時から開会いたします。本日は、これで散会といたします。

（終了 午後2時40分）